

加茂地区の世帯・人口

世帯数 2,369 世帯
 人口 4,716 人
 男 2,369 人
 女 2,347 人
 令和4年1月1日現在

かも福祉だより

令和4年3月1日発行
 第16号

発行者
 加茂地区社会福祉協議会
 事務局
 吉沢学園交流棟
 市原市吉沢117番地

ヤックスによる移動販売(試行)いよいよ始まる!

「いやあ、久しぶり、元気だった?」

「うん、元気だったよ。外へ出ることがなくてね、今日は久しぶりだよ。」

これは、千葉薬品(ヤックス)が試行的に始めた移動販売の場所で聞かれた、お客さん同士の会話です。移動販売は、加茂地区社会福祉協議会の関連組織「明日の加茂を考える」加茂地区第二層協議体」で実施に向け検討してきた課題です。

今回、試行ではありますが、ヤックスにより今年1月13日(木)から毎週木曜日に、加茂地区内の8町会9か所(石神・折津・柿木台・万田野・昭和村・平野・山口・駒込・久保)で、移動スーパーという名前で始められました。移動販売は、加茂地区では既に、Tマートの商品を扱う移動スーパー「とくし丸」などがありました。



ヤックス「らくらく便」

しかし、広い加茂地区、これだけでは買い物で困っている高齢者の要望に十分応えられないことから、新たな事業者として、ヤックスに打診して、移動販売が始まりました。

「とくし丸」は、軽自動車のため各家まで訪問できる特性があり、ヤックスは1トン車なので品数が豊富という特性があります。

今後はそれぞれの特性を活かし、加茂地区の買い物支援に協力してくれることを期待しています。

なお、「とくし丸」は1台増車し2台になります。徐々に買い物が便利になると思われます。

とくし丸
 さらに1台
 増車!



Tマート「とくし丸」

ただ今検討中 交通空白地域解消へ一歩前進!!

加茂地区社協の内部組織「明日の加茂を考える第2層協議体」は、公共交通が届かない地域に利便性を確保する為、市原市(交通政策課)・地区社協・町会長会で移動支援部会を立ち上げ、今後の対策について協議します。

高齢化が進み自動車免許返納により、買物・通院・他の移動手段が極めて狭くなり困難が生じる。どの方法に進めたら解決策に繋がるか移動支援部会で検討してまいります。



交通政策課も初めての試みの為、地区社協・町会長会と協働で一つ一つ問題を解決し、一歩ずつ前進!!

地域住民の理解と熱い思いを期待すると同時に地域型の事業を目指します。(加茂地区第2層協議体 代表 明賀彦之)

楽しく使える車 トゥクトゥク

東南アジアやタイでポピュラーな乗り物「トゥクトゥク」を観光や日常の買い物などに幅広く活用できる4人乗りトゥクトゥクを2台、市原市観光協会(市原DMO)が加茂地区に導入します。

3月中旬(予定)にリニューアルオープンする「高滝湖地域連携オフィス」(養老5-1高滝郵便局手前)に設置する予定です。



連絡先

市原DMO
 (市原市観光協会)
 ☎22-8355

令和3年度加茂地区社会福祉協議会賛助会員加入報告(最終)

日頃より、加茂地区社会福祉協議会の活動に対しまして深くご理解とご協力を賜りありがとうございます。また、一昨年からは新型コロナウイルスの脅威にさらされている中、ワクチン接種・マスク着用・人込みを避けるなどの感染防止を積極的に実施して頂いておりますが、今だ感染は収まらない状況です。更なる予防策の徹底をお願い致します。

さて、この度賛助会員の加入につきまして各企業・各事業所・各種協力団体をはじめ多数の皆様からご賛同を頂き厚く御礼申し上げます。

企業・事業所	33社	協力団体(個人会員含む)	606名
合計数	639	賛助金計	1,142,000円

当初の目標額を大幅に達成することができました。

皆様のご厚意は、加茂地区内の各種事業に活用させて頂き、社会福祉の推進に努めて参ります。



加茂地区小域福祉ネットワーク

富山地区

策定委員会
代表 鎌滝 利和

旧富山小学校区地区防災計画を策定中です

富山地区小域福祉ネットワークでは、令和元年の台風被災後の11月に構成員22名により「災害対策系統作業部会」を立ち上げて、町会長、消防団、民生委員と連携した情報共有の取り組みや自治会館等に非常用発電機5台の配置などを行いました。市原市では各小学校区を単位とする「地区防災計画」の策定を推進しておりましたので、募集のあった策定地区に応募し、令和3年1月に支援地区に決定しました。

- (1) 説明会 (令和3年4月17日、5名合同説明会に参加)
- (2) 勉強会 (令和3年6月6日、20名参加)
- (3) 準備委員会によるスケジュールの検討、周知、会場確保など
(令和3年7月12日、スケジュール案等を市に提出)
- (4) ワークショップの開催

7月に「避難所運営」、10月に「安否確認」と「避難誘導」をテーマとして6グループに分かれて、加茂支所長や加茂学園の教頭先生のご参加も頂き28名で行いました。進行役として危機管理課職員、公益社団法人SL災害ボランティアネットワークのご協力をいただきました。

- (5) 計画書のとりまとめ
ワークショップの結果を踏まえて、12月から8名の策定役員により計画書を取りまとめ、完成後は諸手続きを経て市原市地域防災計画に位置付けられます。



白鳥地区

会長 浅沼 実

活動状況

地域福祉活動の推進・声かけ運動・安心生活見守り支援事業・推進委員会議年3回開催・安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

令和4年1月16日 午前9時より月崎公民館でフォローアップ研修会を開きました。

研修内容 参加者30名

- ① 「高齢者の安全・安心ガイドブック」資料による講習
講師 白鳥駐在所 大内田様
- ② 介護と健康体操
指導 地域包括センター(トータス) 講師 近藤・木村様
～認知症を学び地域で支えよう～ スライドによる講習
音楽(四つのお願ひ・お嫁においで)に合わせて体操をしました。
- ③ 小域福祉ネットワーク活動について 講師 なのはな館 濱田様
令和4年度もマスク着用・こまめな手洗い・安心安全な生活ができますよう心掛けて頂ければ幸いです。地域の皆様には、今後とも変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。



里見地区

会長 佐藤 有一

安心生活見守り支援事業

安心生活見守り支援事業は現在、対象者が18名おります。新型コロナウイルスの感染拡大があるまでは昭和村からマイクロバスをお借りして、お風呂と食事さらに買い物と楽しい交流会を年2回開催しておりました。

今年は残念ながら交流会を開くことが感染拡大で出来ない状況から対象者全員に訪問員からお弁当を手渡ししていただきました。11月と2月の2回寒い時期ではありますが、「うれしいです。近所の方の顔をみると安心します。」などの声を聞きましたと訪問員が伝えてくれました。

予算8万円そんなに豪華なお弁当ではありませんが、喜んで頂いたと評価して令和4年度も実施して参りたいと考えております。



高滝地区

会長 宮原 誠一

活動状況

去る12月15日(水)第3回の推進委員会を34名の参加で開催しました。はじめに、高滝駐在所の半村さんより地域の防犯上の留意点と加茂学園の小澤副校長より子供たちの近況報告をしていただきました。次に「安心生活見守り活動」における、コロナ禍でのお年寄りの状況と高齢者の交流をどう図っていくかを話し合いました。

〈久保地区〉

- ・町会や老人会と協力を体制をつくり、あまり個人負担にならない高齢者の集まりを企画できないか。例えば市のバスを利用し、バスハイクや食事会、日帰り旅行をするなど。また、町会の活動に敬老会の費用を補助するとか、見守りや訪問活動にプレゼントを持参するのもいいと思う。

〈大和田・不入地区〉

- ・介護施設のバスを利用させてもらい、昼食会や桜見会などイベントを企画してはどうか。公民館に集めて小規模な音楽会もいいと思う。

〈本郷地区〉

- ・買い物や病院へ行く乗り合いのようなものが用意できないか。Tマートや病院へ特化した乗り合いの運行の必要性を感じる。
- ・訪問時にプレゼントがあるといい。

〈山口・駒込・外部田地区〉

- ・カラオケを辛うじて続けている状態で、高齢者は家に居る方を選んでいる。

〈高滝・高滝第二・馬場地区〉

- ・花見・納涼・紅葉etc…。季節感を味わう「お楽しみ会」をお年寄りに声かけし、みんなで楽しんでもらう。費用は個人負担プラス補助がいい。

〈養老地区〉

- ・老人会がなんとか残っている。会が消滅した他の地域から加入している人もいる。
- ・安心見守りも毎回同じ話になる。小グループの活動はやがて困難にぶつかる。
高齢者には「きょういく」と「きょうよう」、今日行く所と今日する用事があること、日ごろの顔合わせと交流が大切なのかもしれません。



保育所に伺ってみました

◆2か所の保育所が頑張っております◆

名称	市原市里見小規模保育事業所	市原市高滝認定こども園
改名年月日	平成30年4月1日	平成30年4月1日
対象年齢	0・1・2歳児	3・4・5歳児
園児(加茂地区内)	8名(7名)	23名(20名)
取り組みの特徴	保護者の就労を支えながら子供の健やかな成長のお手伝いをしています。 保育所で過ごす時間が長いので、家庭に近い環境で、子供の性格・発達に応じて寄り添った保育を行っています。	遊びを中心として、健康で意欲的な活動を経験しながら、あたたかい心で協力しあえる子供を育てることを目標としています。 「高滝保育所」から「高滝認定こども園」に代わり、長時間保育の機能と幼児期の学校教育を併せ持った施設です。
地域に求めること	0歳から2歳の子がいることを地域の方に知っていただき、お散歩で子供たちを見かけた際は声をかけていただけると嬉しいです。 避難が必要とされる大きな災害の際は、保育所周辺の様子や状況などの情報を教えていただけると助かります。	加茂学園とは幼少連携で交流を深めております。コロナの影響で、今まで行ってきた直接交流は難しいですが、昨年度からオンラインで年長児と1年生が交流しています。ネットを通して小学校の様子や1年生との会話をすることで、小学校への期待が高まっています。 加茂公民館とは、園児が図書室を利用し、絵本を借りたり、「おはなしだいすき」や「かもつくしんぼ」などの事業に参加しております。
アピール	アットホームな環境で子供達がゆっくり過ごすことが出来ることがおおきな魅力です。小さなお子さんがいらっしゃるご家庭の方がいましたら、ぜひ遊びに来てください。園庭開放しておりますので、事前に電話をかけていただきおいでください。	園庭開放 月曜日から土曜日(祝日、年末年始を除く) 午前9時から午後0時まで 育児相談 子育てに悩みや不安を感じている方、保育士のアドバイスを受けたい方を対象に実施いたします。

